

1 学校教育目標

『生きる力』を育む  
 - 自分で考え、自分で決められる生徒の育成 -

(1) 具体的目標と手立て

整理・分析・判断する機会を与え、自ら考え、主体的に決定する力を育む。特に、進路を自分の意志で選択できるよう、思考や判断を深める学習機会の充実と授業改善を進めていく。

① 自ら学ぶ生徒を育てる

生徒を学びの主体とする授業へと改善を図り、疑問や気づきを促し、必要性を感じて学びに向かう姿勢を育てる。

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、指導法の工夫・改善を進める。
- 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力等を高める場面を工夫する。
- 得た情報を比較し、判断し、自ら学習の方向性を決定できる力を養う。
- 将来の夢や目標を見据え、生涯にわたり学び続ける力の基礎を育む。
- 学習意欲を高める授業の実践、職員研修の充実、授業時数の確保に努める。

② 他者への配慮をもち、自分を大事にできる生徒を育てる。

命を大切にし、他者への思いやりをもち、同時に自分自身を大切にできる生徒を育てる。

- 行事に生徒主体の活動場면을意図的に位置づけ、成就感・達成感を実感させる。
- 道徳教育を推進し、ボランティア・勤労奉仕体験活動を計画的に取り入れ、望ましい勤労観や思いやりの心を育む。あわせて清掃活動を充実させる。
- 良好な人間関係づくりの基盤となる挨拶の励行を促す。
- 歌声活動の充実を通して、他者と心を合わせる価値を実感させる。
- 自他の立場を踏まえて適切に判断し、状況に応じて行動できる力を育む。

③ 健康の自己管理ができ、自ら体力向上を目指す生徒を育てる。

自分の健康に関心を持ち、適切に管理するとともに、体力向上に主体的に取り組む姿勢を育てる。

- 健康に関する自己管理能力の育成を図る。
- 給食指導と食育を充実させる。
- 体力向上を図り、部活動の活性化を進める。
- 健康状態を振り返り、適切に判断して行動できる力を育む。

(2) 目指す姿

< 目指す生徒像 >

- 自分で考え、自分で決められる生徒
- 自ら学ぶ生徒
- 周り自分を大事にする生徒
- 健康管理に努め、体力向上を目指す生徒

< 目指す学校像 >

- 安全・安心な学校
- 学びが保障されている学校
- 家庭・地域とともに歩む、信頼される学校

< 目指す教師像 >

- 子どもに考えさせる教師
- 自らを磨く教師
- 周りを大事にし、チームで活躍する教師
- 全ては子どもたちのために、全力で取り組む教師

## 2 学校経営の重点

### (1) 経営の基本方針

- ① 「全ては子どもたちのために」を常に念頭に置き、生徒が自己実現を図り、充実した学校生活を実感できるよう、全職員が創意工夫をもって取り組む。
- ② 安全・安心な学校づくりに努める。（※感染症予防対策を徹底する。）
- ③ 教育課程の円滑な実施により、知・徳・体の調和の取れた生徒の育成を図る。
- ④ 共通理解と共通行動に基づく指導に努め、報告・連絡・相談を徹底し、組織力を生かした教育活動を推進する。
- ⑤ 目標申告制度、業績評価制度、学校評価を活用し、実践に生きる研修を効果的かつ効率的に導入して、組織の活性化に努める。
- ⑥ 家庭・地域社会・関係諸機関との連携および小中連携教育を積極的に進め、生徒の健全育成を推進する。
- ⑦ 教育環境を整備し、施設・設備の適切な管理と効果的な運用に努める。
- ⑧ 昨年度に続き、令和8年度も佐倉型カリキュラム・マネジメントを推進する。
- ⑨ 佐倉市教育委員会と連携しながら、部活動地域展開を進める。